

愛知県がんセンター 中央病院・研究所 概要

平成29年度



基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

患者さんの権利

1. 誰でも良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報が保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

目 次

目 的	2
沿 革	2
設置の根拠	3
施設の概要	3
所在地 土地・建物 中央病院 研究所	
組織と職員定数	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備	18
備品 附属設備	
病院業務	19
診療科目等 外来診療経路 患者状況 患者給食実施状況等	
研究業務	27
研究所における部別研究課題 病院における課題別研究課題 共同研究課題等	
類似病院との比較	30
外来診療案内・入院案内	31
交通案内	32

目 的

がんは、昭和56年に死亡原因の1位となり、その後も年々増加している。わが国におけるがんの対策は、諸外国と同様に、生活習慣病対策のなかで最も重要な国民的課題である。

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

沿 革

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 7年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver4.0）
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver6.0）
平成22年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7月 1日	外来化学療法センター開設
平成26年 3月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4月 1日	地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設
平成26年 9月27日	病院機能評価の認定（機能種別版評価項目3rdG:ver1.0）
平成27年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新

設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置
現在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

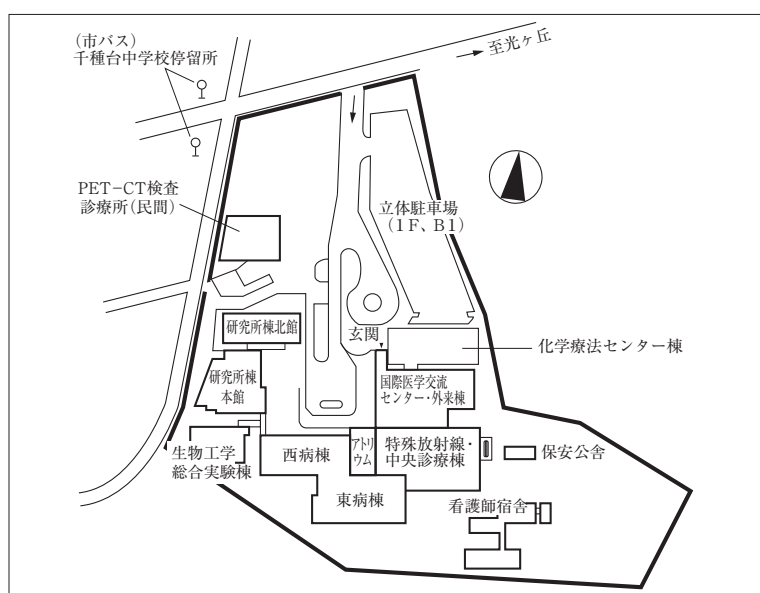
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての調査研究を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者・研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査研究を行う者に施設を利用させること

施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(平成29年4月1日現在)



土地・建物

(平成29年4月1日現在)

区	分	構造・規模	延床面積
土	地		49,788.56 m ²
建 物	合 計		72,941.06 m ²
	病 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m ²
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m ²
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m ²
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m ²
	研 究 所 棟 本 館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m ²
	研 究 所 棟 北 館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m ²
	生物学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m ²
	看 護 師 宿 舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟	3,352.33 m ²
	保 安 公 舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m ²
	立 体 駐 車 場	鉄筋コンクリート造 2層建	6,312.07 m ²
	そ の 他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	355.46 m ²

中央病院

(平成29年4月1日現在)

(東) 病棟 (西)

		内 容	病床数	階別	内 容	病床数	
		機械室		搭屋	機械室		
		特別病棟 (混合)	25床	9階	特別病棟 (混合)	25床	
		特別病棟 (混合)	30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、放射線治療科、頭頸部外科、治験、緩和ケア(緊急))	50床	
		一般病棟 (消化器内科・消化器外科)	50床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)	50床	
		一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)	50床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断・IVR科)	49床	
	空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床)	一般病棟 (頭頸部外科、脳神経外科) (46床)	50床	5階	一般病棟 (婦人科、乳腺科、形成外科)	50床
手術部門、輸血部門		ICU病棟	21床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、薬物療法科)	50床	
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)		3階	管理部門(総長室、病院長室等)		
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門(医局等)		
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門(運用部等)		
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室		

(病床合計500床)

国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門(一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター、薬剤部門(薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター(メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門(供給室等)、カルテ、フィルム庫

化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門(ミキシング室等)

都道府県がん診療連携拠点病院

第3次対がん10年総合戦略においては、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるがん医療の均てん化が戦略目標に掲げられている。

この目標達成のために国によって整備が進められることになったがん診療連携拠点病院について、当院は、平成19年1月31日付で県内1か所の指定である「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受け、県内の「地域がん診療連携拠点病院」及び愛知県が指定する「愛知県がん診療拠点病院」を兼ね、愛知県の中心的ながん診療機能を担っている。具体的には、拠点病院の医療従事者に対する研修の実施、クリティカルパス（治療計画）の整備、診療実績等の共有、PDCAサイクルの確保など、地域の医療連携体制の構築を通じて支援している。

その他、院内に地域医療連携・相談支援センターを設け、患者・家族からの相談支援、医療情報の提供、社会保険労務士による就労相談を行っている。

また、平成26年4月からは緩和ケアセンターを開設し、緩和ケアチーム等と連携し、専門的な緩和ケアの提供を行っている。

外来化学療法センター

平成25年7月1日に開設した新外来化学療法センター棟は、ベッド38床（うち個室3床）、チェア22台の計60床を有し、全国でも最大規模の病床数を誇っている。中庭を配置し、自然光が入る明るいフローア、木の温もりあふれる空間を提供している。多くの治験、臨床試験も外来治療として施行し、看護師や薬剤師による副作用対応のための電話相談等も行い、きめ細やかな医療を提供している。

新しいセンターに移行し、外来化学療法センターの平成28年度利用患者総数は約22,000件で、1日あたりの利用者数は91人であった。名実ともに日本のがん治療を担うleading hospitalの顔として機能している。



先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設置し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンター中央病院では、①「パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん」、②「ベメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）」、③「インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫（症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。）」、④「術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん（洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る。）」、⑤「術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん（HER2が陽性のものに限る。）」、⑥「mFOLFOX 6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 胃がん（腺がん及び腹膜播種であると確認されたものであって、抗悪性腫瘍剤の経口投与では治療が困難なものに限る。）」、の医療技術について提供している。

治験支援室・臨床試験室

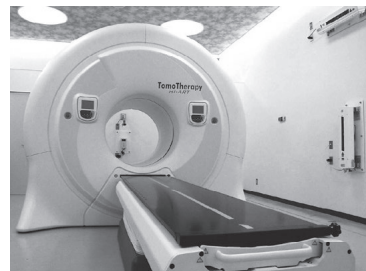
当院は、がん専門病院としては全国トップクラスの治験の実績を持っている。臨床試験部治験支援室では、製薬企業からの依頼を受けて新薬開発のための治験や製造販売後臨床試験、また医師が中心となって行う医師主導治験の支援を行っている。

また、同部臨床試験室では、治験以外のさまざまな臨床試験の支援を行っている。

トモセラピー (Tomotherapy)

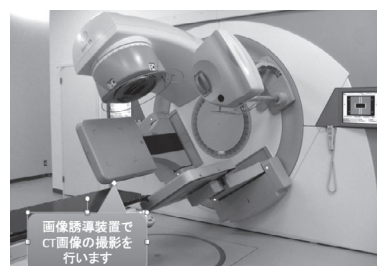
平成18年6月から稼働の放射線治療装置 Tomotherapy は強度変調放射線治療 (IMRT) 専用機として開発された。

IMRTとは小さな鉛ブロックの開閉で照射野内の線量に強弱をつけ、かつ全周方向から照射・合成することで高精度な放射線分布を作る方法である。本装置は小型の放射線発生装置（ライナック）を内蔵し、ヘリカルCT方式で治療ベッドを移動しながらスライス状ビームで治療する。頭頸部を中心に骨盤、軟部腫瘍などのIMRTを年間約150人の治療を行っている。



シナジー (Synergy)

平成24年7月に稼働したIMRTや体幹部定位放射線治療などの高精度放射線治療と、一般放射線治療を行う汎用治療装置。治療直前にCT画像を撮影して正確に位置合わせを行い治療することができ、呼吸位相の照合画像で定位照射の正確な位置合わせも可能である。IMRTの需要が年々増加する中で、年間のIMRTの治療人数をおよそ30-40人増加でき、体幹部定位放射線治療は年間10数名実施できた。



トゥルービーム (True beam)

高精度治療兼用の汎用機。シナジーと同様に治療前のCT照合を行い高精度な位置合わせを行う。高線量率の照射が可能となる特徴があり、体幹部定位照射の治療時間が短くなり、トモセラピーに近い複雑なIMRTの実施も可能になる。

またガンマナイフ同様の脳定位照射が実施できる利点がある。本機の導入により高精度治療の対応範囲が増加し、より治療精度が向上できる。



がん診療情報ネットワークシステム

国立がんセンター中央病院を核として、国立9病院と、愛知県がんセンターを始め全国の自治体設立15施設の計24施設をネットワークで結び、各施設間での臨床情報、研究情報及び学術情報の共有化を図るとともに、相互の情報交換によりがん診療や治療技術、研究の向上を図る目的で運営されている。

なお、地方自治体設立のがんセンターとしては、愛知県がんセンターが全国にさきがけてネットワークの一員となっている。

研究所

(平成29年4月1日現在)

研究所棟本館

フロア	南	北	フロア	
6階	電気室	空調機械スペース	6階	研究所棟北館
5階	腫瘍医化学部	疫学・予防部/中央実験室	5階	
4階	腫瘍免疫学部	感染腫瘍学部	4階	
3階	腫瘍病理学部	分子病態学部	3階	
2階	遺伝子医療研究部	分子腫瘍学部	2階	
1階	共同機器室/管理室	臨床研究室 共同機器室	1階	
地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	
空調機械スペース			4階	空調機械室
遺伝子実験室			3階	副総長室 疫学・予防部 がん登録室 セミナー室等
管理室 バイオバンク 医局			2階	図書室 共同機器室 会議室
バイオバンク 共同機器室 学生研修室・更衣室 会議室			1階	運用部電算機室 保育所 他
空調機械室 電気室			地階	電気室 その他

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階(一部6階)、総床面積7,113㎡である。動物実験施設が設置され、免疫能の低い特殊なマウスや遺伝子改変マウスを用いた発がん・制がんの実験や、遺伝子機能解明のための実験が行われている。1階には管理室や共同機器室と共に、臨床研究室が置かれ、病院との共同研究が進められている。2階から5階には8部門の実験室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室、暗室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積

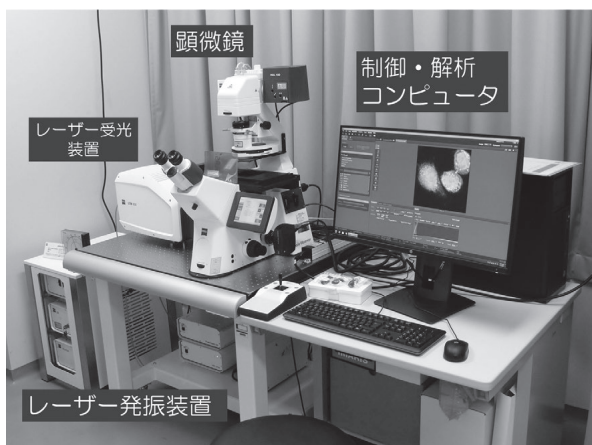
3,244㎡で、副総長室等の管理部門、疫学・予防部のほか、がん登録室、図書室、セミナー室、電算機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。昨年度、最新の使用目的に合うよう改修され、1階にはバイオバンクや、共同機器室とともに、看護学生研修室、会議室も整備された。2階には、従来からある管理室のほかにバイオバンク、医局が整備された。



共焦点レーザー顕微鏡

共焦点レーザー顕微鏡は、特定の焦点面(水平面)において、特定の蛍光だけを取得できる顕微鏡である。特定の焦点面だけの画像を取得できるため、鮮明な画像が取得できる。また、特定の蛍光だけを取得できるため、複数の蛍光を別々の画像として取得し、複数の蛋白質の存在位置の関係を調べることができる。



次世代DNA シーケンサー

次世代DNAシーケンサーは、従来のDNAシーケンサーの1億から10億倍のデータを取得することが可能な機器である。1台の次世代シーケンサーを用いると、何百台という従来型シーケンサーで10年ほど要したデータをわずか数日で取得できる。今日のがんの基礎および臨床研究では、大規模な塩基配列情報を一斉解析することは、必要不可欠である。



細胞蛍光イメージャー

細胞蛍光イメージャーは、細胞の観察、および蛍光ラベルを高解像度、高感度で画像を取得できる顕微鏡システムである。さまざまな条件で培養した細胞の形態、生細胞・死細胞の観察、薬剤感受性などを観察、解析することができる。また、通常的环境下で使用可能であり、実験台に設置して、日常的に使用できる機器である。



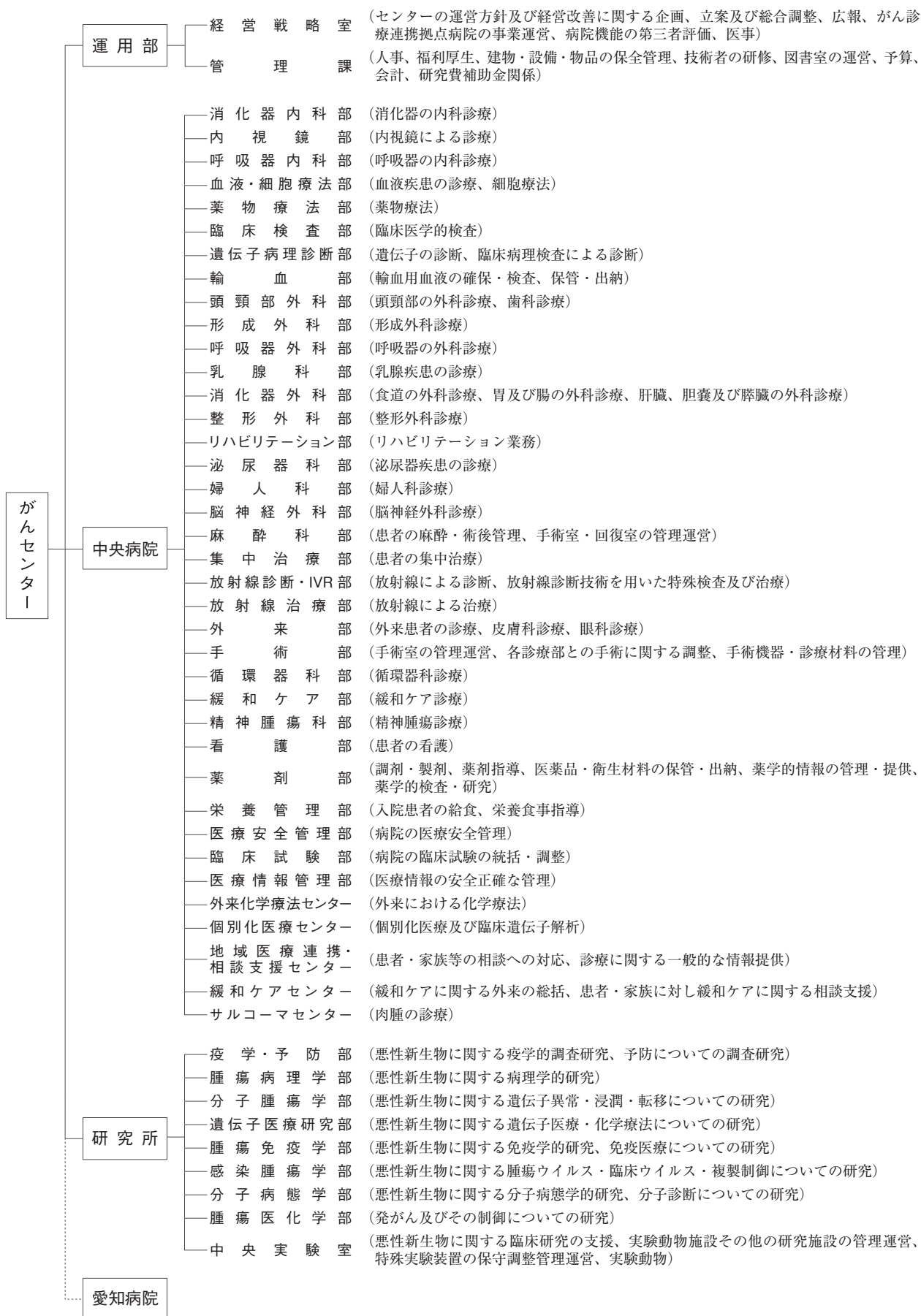
レーザーマイクロダイセクション

レーザーマイクロダイセクションは、スライドガラス上の組織切片を顕微鏡下で観察しながら、混在する複数の細胞集団のなかから目的とする細胞塊をレーザーによって切り出し、採取、回収することのできる装置である。回収したサンプルは、分子生物学的な手法等を用いた解析に用いる。



組織と職員定数

組 織 (平成29年4月1日現在)



役職者一覧表

(平成29年4月1日現在)

役職名		氏名	備考	役職名		氏名	備考
総長	木下平	事務取扱	集中治療部長	波多野 潔	循環器科部長(兼)		
	副総長	高橋 隆			放射線診断・IVR部長	稲葉 吉 隆	
運用部	運用部長	後藤 輝 夫	放射線治療部長	古 平 毅			
	経営戦略室長	川津 弘 之	外来部長	堀尾 芳 嗣			
	管理課長	加藤 洋 一	手術部長	伊藤 誠 二			
中 央 病 院	院長	丹羽 康 正	循環器科部長	波多野 潔			
	副院長	長谷川 泰 久	緩和ケア部長	下山 理 史			
		岩田 広 治	精神腫瘍科部長	小森 康 永			
		清水 泰 博	看護部長	亀島 里 美	副院長(兼)		
		亀島 里 美	薬剤部長	水野 靖 也			
	消化器内科部長	原 和 生	栄養管理部長	田近 正 洋	内視鏡部長(兼)		
	内視鏡部長	田近 正 洋	医療安全管理部長	長谷川 泰 久	副院長(兼)		
	呼吸器内科部長	樋田 豊 明	臨床試験部長	欠			
	血液・細胞療法部長	山本 一 仁	医療情報管理部長	岩田 広 治	副院長(兼)		
	薬物療法部長	室 圭	外来化学療法センター長	室 圭	薬物療法部長(兼)		
	臨床検査部長	谷田部 恭	個別化医療センター長	谷田部 恭	遺伝子病理診断部長(兼)		
	遺伝子病理診断部長	谷田部 恭	地域医療連携・相談支援センター長	堀尾 芳 嗣	外来部長(兼)		
	輸血部長	山本 一 仁	緩和ケアセンター長	下山 理 史	緩和ケア部長(兼)		
	頭頸部外科部長	長谷川 泰 久	サルコマーセンター長	筑紫 聡	整形外科部長(兼)		
	形成外科部長	兵藤 伊久夫	研究所長	欠			
	呼吸器外科部長	坂尾 幸 則	副所長	関戸 好 孝			
	乳腺科部長	岩田 広 治	疫学・予防部長	欠			
	消化器外科部長	清水 泰 博	腫瘍病理学部長	欠			
整形外科部長	筑紫 聡	分子腫瘍学部長	関戸 好 孝	副所長(兼)			
リハビリテーション部長	吉田 雅 博	遺伝子医療研究部長	松尾 恵 太郎				
泌尿器科部長	曾我 倫久人	腫瘍免疫学部長	葛島 清 隆				
婦人科部長	水野 美 香	感染腫瘍学部長	小根 山 千 歳				
脳神経外科部長	服部 和 良	分子病態学部長	青木 正 博				
麻酔科部長	仲田 純 也	腫瘍医化学部長	欠				

職種別・職員定員一覧表

(平成29年4月1日現在)

職種別	部門別	総 数	運 用 部	病 院	研 究 所
総 数		7 3 8	2 8	6 5 7	5 3
事 務		3 3	2 7	6	
医 療 社 会 事 業 員		1		1	
医 師		1 3 7	1	1 0 7	2 9
歯 科 医 師		2		1	1
理 学 士 ・ 研 究 員		1 3		1	1 2
診 療 放 射 線 技 師		2 8		2 8	
理 学 療 法 士		5		5	
言 語 聴 覚 士		2		2	
作 業 療 法 士		2		2	
薬 剤 師		3 4		3 4	
臨 床 検 査 技 師		3 2		3 1	1
臨 床 工 学 技 士		4		4	
看 護 師		3 9 9		3 9 9	
看 護 助 手		3		3	
栄 養 士		3		3	
歯 科 衛 生 士		1		1	
そ の 他 給 食 関 係 職 員		1 5		1 5	
臨 床 試 験 コ ー デ イ ナ ー		1 4		1 4	
研 究 補 助		1 0			1 0

管理業務

会計予算 (収益的收入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		28年度当初予算	29年度当初予算
(事業収益)		23,574,351	21,518,645
医 業 収 益		20,769,240	18,510,360
	入 院 収 益	11,371,092	8,734,290
	外 来 収 益	7,202,646	7,656,176
	一般会計負担金	1,077,384	1,000,155
	その他医業収益	1,118,118	1,119,739
医 業 外 収 益		2,805,111	3,008,285
	受取利息配当金	105	22
	一般会計負担金	1,607,136	1,590,916
	一般会計補助金	26,391	13,818
	国庫補助金	9,057	21,725
	長期前受金戻入	73,105	72,412
	資本費繰入収益	476,330	678,372
	その他医業外収益	612,987	631,020
特 別 利 益	特 別 利 益	0	0
(事業費)		22,391,814	20,889,408
医 業 費 用		22,211,626	20,710,180
	給 与 費	8,219,177	8,610,520
	材 料 費	9,937,725	7,812,070
	経 費	2,073,820	2,194,773
	減 価 償 却 費	1,306,062	1,433,420
	資 産 減 耗 費	41,940	38,827
	研 究 研 修 費	632,902	620,570
医 業 外 費 用		175,188	174,228
	支払利息・企債諸費	92,315	87,733
	長期前払消費税償却	32,776	26,953
	雑 損 失	2,001	2,001
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	48,096	57,541
特 別 損 失		0	0
予 備 費	予 備 費	5,000	5,000
差 引 損 益		1,182,537	629,237

(資本的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		28年度当初予算	29年度当初予算
(資本的収入)		2,154,791	1,918,937
企 業 債	企 業 債	1,481,000	1,166,200
国 庫 支 出 金	国 庫 補 助 金	0	0
他 会 計 出 資 金	一 般 会 計 出 資 金	0	0
他 会 計 負 担 金	一 般 会 計 負 担 金	653,791	732,737
雑 収 入	雑 収 入	20,000	20,000
(資本的支出)		2,865,425	2,612,959
建 設 改 良 費		565,333	475,571
	建 設 費	420,181	0
	改 良 費	※ 145,152	475,571
資 産 購 入 費		1,297,999	1,151,957
	医 療 器 械 購 入 費	980,896	766,987
	備 品 購 入 費	100	100
	リ ー ス 債 務 費	317,003	384,870
企 業 債 償 還 金	企 業 債 償 還 金	1,002,093	985,431
収 支		△ 710,634	△ 694,022

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。
 ※平成28年度は、別に2月補正予算として改良費 △140,292千円を計上 (工事請負費に係る減額補正)

経営状況

(単位 千円・税抜き)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
事業収益	16,666,489	16,318,503	17,165,299	18,299,986	20,189,060	
内 訳	入 院 収 益	8,163,112	7,946,933	7,782,370	8,144,735	8,470,312
	外 来 収 益	4,656,661	4,947,789	5,271,329	5,944,954	7,053,008
	一般会計負担金	2,533,100	2,453,926	2,303,929	2,385,351	2,684,520
	そ の 他	1,313,616	969,855	1,807,671	1,824,946	1,981,220
特別利益	0	0	0	0	0	
事業費用	15,884,759	15,978,366	17,035,164	17,706,041	19,202,058	
内 訳	給 与 費	7,546,630	7,071,530	7,232,431	7,488,279	7,669,260
	そ の 他	8,338,129	8,906,836	9,802,733	10,217,762	11,532,798
特別損失	0	0	3,345,799	0	0	
経 常 損 益	781,730	340,137	130,136	593,945	987,002	
純 損 益	781,730	340,137	△ 3,215,663	593,945	987,002	

(注1) 経常損益は、事業収益から事業費用を差し引いたものをいう。

(注2) 純損益は、経常損益に特別損益を加えたものをいう。

(注3) 平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

がん患者状況（院内登録）

年次別・部位別がん患者数（男女計） 1964－2015

※平成8年までは、ICD9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道 がん (C15)	胃がん (C16)	結腸 がん (C18)	直腸 がん (C19~C21)	肝臓 がん (C22)	頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮 がん (C53~C55 C58)	泌尿器 のがん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82, C84 C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,593	62	289	116	90	47	104	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,552	56	211	103	72	56	130	208	308	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,683	48	247	115	69	66	152	227	318	134	73	27	42	12	153
平成10年(1998)	1,804	63	284	129	72	73	139	257	310	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,888	72	260	103	86	65	144	288	382	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,900	71	260	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,066	121	261	140	103	59	170	309	350	162	82	44	61	11	193
平成14年(2002)	2,214	120	274	152	114	63	213	335	346	148	111	47	66	10	215
平成15年(2003)	2,285	124	275	161	117	61	207	326	324	159	145	50	78	8	250
平成16年(2004)	2,382	137	307	161	115	65	223	316	330	184	143	54	55	7	285
平成17年(2005)	2,624	163	330	171	169	81	236	347	375	196	134	45	65	10	302
平成18年(2006)	2,746	165	366	189	172	67	189	365	426	203	170	67	64	13	290
平成19年(2007)	2,771	175	356	174	181	75	216	358	412	173	174	66	44	17	350
平成20年(2008)	2,625	149	359	167	159	51	174	305	423	199	171	54	34	13	367
平成21年(2009)	2,947	165	317	165	161	85	263	401	432	263	228	53	36	21	357
平成22年(2010)	3,024	180	350	191	166	98	226	415	454	244	224	53	33	12	378
平成23年(2011)	3,020	180	326	172	156	77	261	411	494	208	226	58	38	15	398
平成24年(2012)	3,031	212	354	173	179	63	268	360	507	227	189	49	28	10	412
平成25年(2013)	3,020	186	328	179	157	65	294	385	532	218	184	59	29	15	389
平成26年(2014)	2,896	200	268	171	157	69	264	451	499	200	166	54	10	5	382
平成27年(2015)	2,860	158	310	174	178	62	266	442	450	160	179	46	2	4	429
合計	94,331	4,095	16,937	4,990	4,822	2,291	7,219	11,139	16,136	9,868	3,420	1,653	1,921	577	9,263

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964-2015 ※平成8年までは、ICD9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位 全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82, C84 C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年(1965)	100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年(1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年(1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年(1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年(1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年(1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年(1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年(1972)	100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年(1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年(1974)	100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年(1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年(1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年(1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年(1978)	100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年(1979)	100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年(1980)	100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年(1981)	100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年(1982)	100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年(1983)	100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年(1984)	100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年(1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年(1986)	100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年(1987)	100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年(1988)	100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年(1989)	100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年(1990)	100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年(1991)	100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年(1992)	100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年(1993)	100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年(1994)	100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	3.0	6.5	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年(1995)	100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年(1996)	100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.5	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.2
平成9年(1997)	100.0	2.9	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.9	8.0	4.3	1.6	2.5	0.7	9.1
平成10年(1998)	100.0	3.5	15.7	7.2	4.0	4.0	7.7	14.2	17.1	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.8
平成11年(1999)	100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.3	20.2	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年(2000)	100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年(2001)	100.0	5.9	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	16.9	7.8	4.0	2.1	3.0	0.5	9.3
平成14年(2002)	100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.7	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.7
平成15年(2003)	100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.3	14.2	7.0	6.3	2.2	3.4	0.4	10.9
平成16年(2004)	100.0	5.8	12.9	6.8	4.8	2.7	9.4	13.2	13.8	7.7	6.0	2.3	2.3	0.3	12.0
平成17年(2005)	100.0	6.2	12.6	6.5	6.4	3.1	9.0	13.2	14.3	7.5	5.1	1.7	2.5	0.4	11.5
平成18年(2006)	100.0	6.0	13.3	6.9	6.3	2.4	6.9	13.3	15.5	7.4	6.2	2.4	2.3	0.5	10.6
平成19年(2007)	100.0	6.3	12.8	6.3	6.5	2.7	7.8	13.0	14.9	6.2	6.3	2.4	1.6	0.6	12.6
平成20年(2008)	100.0	5.7	13.6	6.4	6.1	1.9	6.6	11.6	16.1	7.6	6.5	2.1	1.3	0.5	14.0
平成21年(2009)	100.0	5.6	10.8	5.6	5.5	2.9	8.9	13.6	14.7	8.9	7.7	1.8	1.2	0.7	12.1
平成22年(2010)	100.0	6.0	11.5	6.3	5.5	3.2	7.5	13.7	15.0	8.1	7.4	1.8	1.1	0.4	12.5
平成23年(2011)	100.0	6.0	10.8	5.7	5.2	2.5	8.6	13.6	16.3	6.9	7.5	1.9	1.3	0.5	13.2
平成24年(2012)	100.0	7.0	11.7	5.7	5.9	2.1	8.8	11.9	16.8	7.5	6.2	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年(2013)	100.0	6.2	10.9	5.9	5.2	2.2	9.7	12.7	17.6	7.2	6.1	2.0	1.0	0.5	12.8
平成26年(2014)	100.0	6.9	9.3	5.9	5.4	2.4	9.1	15.6	17.2	6.9	5.7	1.9	0.3	0.2	13.2
平成27年(2015)	100.0	5.5	10.8	6.1	6.2	2.2	9.3	15.5	15.7	5.6	6.3	1.6	0.1	0.1	15.0
合計	100.0	4.3	18.2	5.2	5.1	2.4	7.7	11.9	17.1	10.6	3.5	1.7	1.5	0.6	10.2

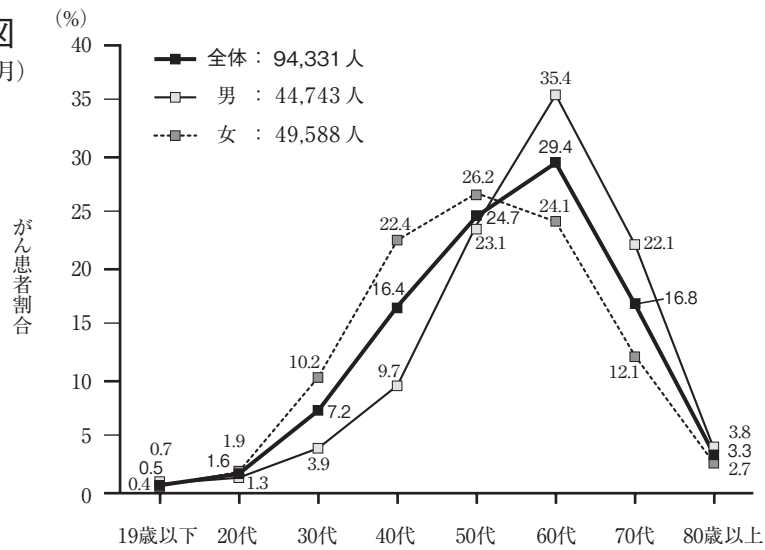
登録(診断)年次別がん患者の生存数(男女計) 1964 - 2014

登録(診断)年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年(1965)	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年(1966)	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年(1967)	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年(1968)	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年(1969)	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年(1970)	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年(1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年(1972)	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年(1973)	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年(1974)	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年(1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年(1976)	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年(1977)	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年(1978)	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年(1979)	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年(1980)	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年(1981)	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年(1982)	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年(1983)	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年(1984)	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年(1985)	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年(1986)	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年(1987)	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年(1988)	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年(1989)	1,287	1,008	883	819	784	757	641
平成2年(1990)	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年(1991)	1,298	1,080	943	873	826	786	684
平成4年(1992)	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年(1993)	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年(1994)	1,593	1,305	1,160	1,073	1,005	966	828
平成7年(1995)	1,545	1,259	1,095	992	931	900	759
平成8年(1996)	1,552	1,282	1,122	1,009	966	912	777
平成9年(1997)	1,683	1,406	1,211	1,100	1,036	993	844
平成10年(1998)	1,804	1,466	1,285	1,174	1,107	1,052	888
平成11年(1999)	1,888	1,537	1,324	1,219	1,148	1,102	942
平成12年(2000)	1,900	1,575	1,367	1,264	1,185	1,119	949
平成13年(2001)	2,066	1,673	1,482	1,362	1,269	1,204	999
平成14年(2002)	2,214	1,819	1,572	1,409	1,314	1,252	1,051
平成15年(2003)	2,285	1,897	1,653	1,525	1,425	1,351	1,146
平成16年(2004)	2,382	2,012	1,721	1,573	1,489	1,418	1,221
平成17年(2005)	2,624	2,221	1,930	1,760	1,657	1,596	1,371
平成18年(2006)	2,746	2,342	2,064	1,919	1,813	1,753	1,517
平成19年(2007)	2,771	2,355	2,094	1,942	1,838	1,758	
平成20年(2008)	2,625	2,288	2,073	1,928	1,805	1,726	
平成21年(2009)	2,947	2,511	2,230	2,057	1,955	1,878	
平成22年(2010)	3,024	2,604	2,294	2,110	1,991	1,920	
平成23年(2011)	3,020	2,610	2,316	2,163	2,095	2,055	
平成24年(2012)	3,031	2,621	2,329	2,190	2,156		
平成25年(2013)	3,020	2,576	2,357	2,308			
平成26年(2014)	2,896	2,547	2,471				

登録(診断)年次別がん患者の実測生存率(%) (男女計) 1964 - 2014

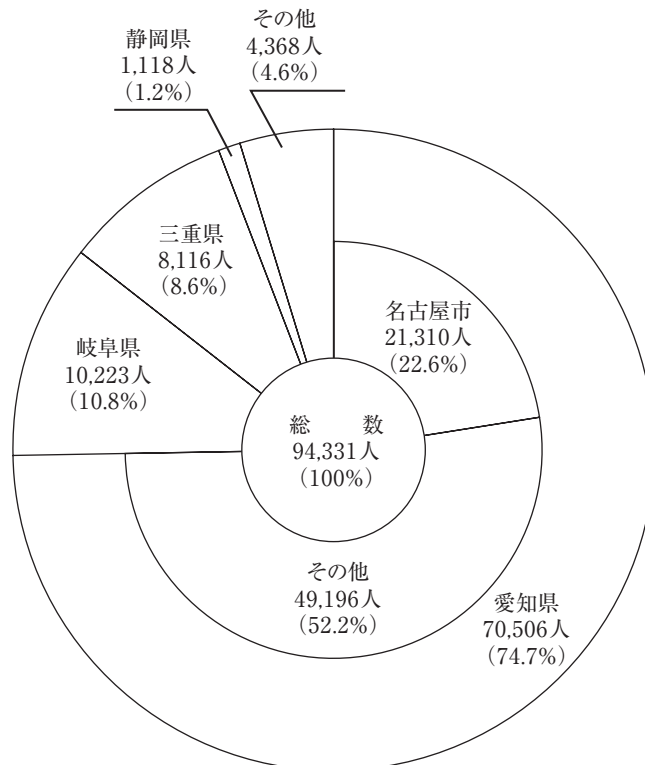
登録(診断)年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年(1965)	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年(1966)	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年(1967)	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年(1968)	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年(1969)	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年(1970)	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年(1971)	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年(1972)	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年(1973)	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年(1974)	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年(1975)	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年(1976)	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年(1977)	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年(1978)	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年(1979)	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年(1980)	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年(1981)	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年(1982)	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年(1983)	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年(1984)	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年(1985)	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年(1986)	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年(1987)	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年(1988)	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年(1989)	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.8
平成2年(1990)	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年(1991)	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.7
平成4年(1992)	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年(1993)	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年(1994)	81.9	72.8	67.4	63.1	60.6	52.0
平成7年(1995)	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.1
平成8年(1996)	82.6	72.3	65.0	62.2	58.8	50.1
平成9年(1997)	83.5	72.0	65.4	61.6	59.0	50.1
平成10年(1998)	81.3	71.2	65.1	61.4	58.3	49.2
平成11年(1999)	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年(2000)	82.9	71.9	66.5	62.4	58.9	49.9
平成13年(2001)	81.0	71.7	65.9	61.4	58.3	48.4
平成14年(2002)	82.2	71.0	63.6	59.3	56.5	47.5
平成15年(2003)	83.0	72.3	66.7	62.4	59.1	50.2
平成16年(2004)	84.5	72.3	66.0	62.5	59.5	51.3
平成17年(2005)	84.6	73.6	67.1	63.1	60.8	52.2
平成18年(2006)	85.3	75.2	69.9	66.0	63.8	55.2
平成19年(2007)	85.0	75.6	70.1	66.3	63.4	
平成20年(2008)	87.2	79.0	73.4	68.8	65.8	
平成21年(2009)	85.2	75.7	69.8	66.3	63.7	
平成22年(2010)	86.1	75.9	69.8	65.8	63.5	
平成23年(2011)	86.4	76.7	71.6	69.4	68.0	
平成24年(2012)	86.5	76.8	72.3	71.1		
平成25年(2013)	85.3	78.0	76.4			
平成26年(2014)	87.9	85.3				

がん患者 年齢構成図 (昭和39年12月～平成27年12月)



		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	295	585	1,739	4,356	10,316	15,825	9,907	1,720	44,743
	%	0.7%	1.3%	3.9%	9.7%	23.1%	35.4%	22.1%	3.8%	100.0%
女	患者数	216	941	5,051	11,102	13,002	11,942	5,986	1,348	49,588
	%	0.4%	1.9%	10.2%	22.4%	26.2%	24.1%	12.1%	2.7%	100.0%
計	患者数	511	1,526	6,790	15,458	23,318	27,767	15,893	3,068	94,331
	%	0.5%	1.6%	7.2%	16.4%	24.7%	29.4%	16.8%	3.3%	100.0%

がん患者 県別分布数 (昭和39年12月～平成27年12月)



レジデント履修状況

区 分	総 数	消化器 内科コース	呼吸器 内科コース	腫瘍内科・ 血液内科 コース	頭 頸 部 外科コース	呼吸器外 科・乳腺科 コース	消化器 外科コース	婦人科・泌尿器 ・整形外科・形 成外科コース	放 射 線 診断コース	放 射 線 治療コース	遺 伝 子 病理診断 コース	麻 酔 科 コース
昭和61～ 平成25年度	1,034	96	55	55	99	141	128	51	85	295	27	2
26年度	53	7	3	8	6	10	6	4	2	5	2	0
27年度	48	9	2	9	3	6	5	3	4	4	3	0
28年度	55	10	4	7	4	7	7	4	5	3	3	1
総 数	1,190	122	64	79	112	164	146	62	96	307	35	3

(注)呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

リサーチレジデント履修状況

区 分	総 数	疫学・予防学 コース	腫瘍病理学 コース	分子腫瘍学 コース	遺伝子医療 研究コース	腫瘍免疫学 コース	分子病態学 コース	感染腫瘍学 コース	腫瘍医化学 コース	臨床研究 基礎コース
平成13～ 平成25年度	121	11	13	13	14	15	10	18	20	7
26年度	16	2	2	4	1	2	2	0	3	0
27年度	12	2	0	2	2	2	1	0	3	0
28年度	10	1	0	3	2	0	2	0	2	0
総 数	159	16	15	22	19	19	15	18	28	7

(注) 感染腫瘍学コースは、平成25年度までは腫瘍ウイルス学コース
腫瘍医化学コースは、平成25年度までは発がん制御研究コース

医療技術者研修受入れ状況

区 分	総 数	41～23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 数	5,581	5,211	81	77	74	72	66
医 師	3,512	3,295	51	53	51	26	36
診 療 放 射 線 技 師	227	224	0	1	1	0	1
臨 床 (衛 生) 検 査 技 師	594	568	7	4	3	7	5
看 護 師	317	294	4	2	2	15	0
そ の 他	931	830	19	17	17	24	24

図書蔵書状況 (受入数-除籍数=総数)

年度	種 類	受 入 数	単 行 本		専 門 雑 誌	
			洋	和	洋	和
昭和40～平成25年度		70,561	11,865	18,772	28,353	11,571
26年度		1,058	30	742	38	248
27年度		980	41	643	9	287
28年度		1,073	56	736	17	264
除 籍 累 計		13,541	3,265	3,945	4,764	1,567
総 数		60,131	8,727	16,948	23,653	10,803

主な備品・設備

備 品 (平成29年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	臨床検査部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
X線TV装置	平成3年度	DBW-220A型 東芝	1	放射線診断・IVR部
多方向X線撮影装置	※ 平成3年度	VS-20 鳥津	1	放射線診断・IVR部
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	平成17年度	Aquilion32	1	放射線診断・IVR部
血管造影検査治療システム	平成19年度	AquilionLB/INFX-8000C 東芝	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成20年度	Signa HDxt 3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成21年度	Senographe DS Depister GE	1	放射線診断・IVR部
モニター読影入力システム	平成22年度	放射線読影レポートシステム F-Report 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
画像保存通信装置	平成26年度	SYNAPSE/Rapideyecore 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFX-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
医療用リニアアクセラレータ	平成17年度	Hi-ARTシステム・Tomo Therapy	1	放射線治療部
小線源確認写真撮影装置	平成19年度	Cvision PLUS 鳥津	1	放射線治療部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	Synergy エレクタ	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	平成23年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB-TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
動物飼育設備	平成11年度	ダイダグ	1	中央実験室
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	中央実験室
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	中央実験室
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンディッキンソン	1	中央実験室
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	中央実験室
共焦点レーザー顕微鏡	平成28年度	LSM800 カールツァイス	1	中央実験室
質量分析システム	平成22年度	4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer エービー・サイエックス	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	共通実験室

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (平成29年4月1日現在)

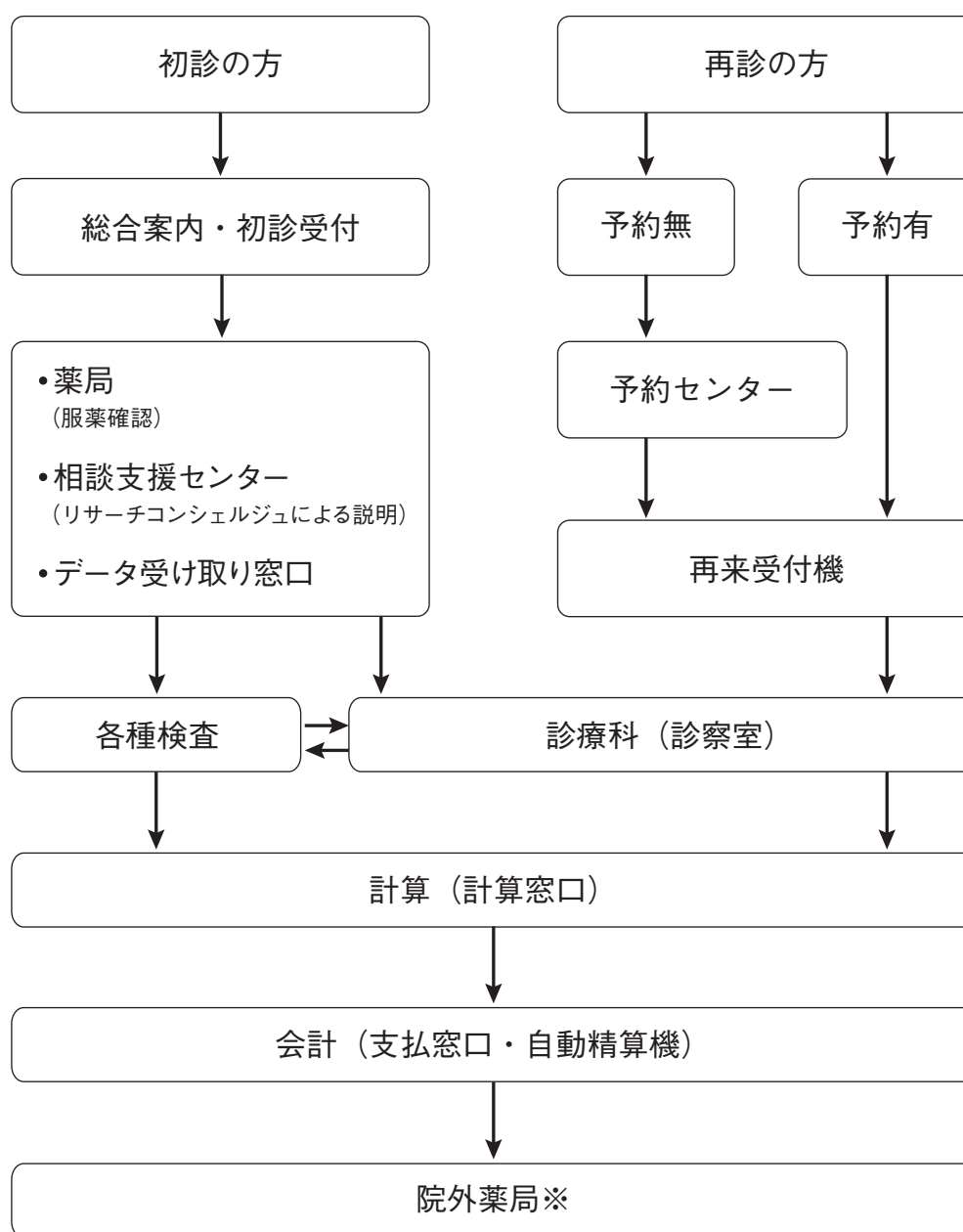
設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電気設備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチャラー	4		高压配電用変圧器	49		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非常用発電機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫流ボイラー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷温水発生器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空 調 機	118		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322		昇 降 機	19			

病院業務 (平成29年4月1日現在)

診療科目 消化器内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科 計 23 診療科

病床数 500床

外来診療の流れ



※薬剤によっては院内薬局にて処方する場合があります。

外来患者状況

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
診 療 日 数	245	244	244	243	243
新 来 患 者 数	5,548	5,468	5,279	5,240	5,404
患 者 延 数	150,654	154,951	141,149	138,798	139,270
1 日 平 均 患 者 数	614.9	635.0	578.5	571.2	573.1
平 均 通 院 回 数	27.2	28.3	26.7	26.5	25.8
紹 介 患 者 比 率	87.1	90.6	93.7	95.4	96.2
外 来 化 学 療 法 件 数	21,011	21,762	19,820	20,120	21,388

入院患者状況

区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
患 者 総 数	総 数	9,800	9,627	9,508	10,143	10,631
	繰 越	325	344	327	368	342
	新入院	9,475	9,283	9,181	9,775	10,289
退 院 患 者 数	総 数	9,456	9,300	9,140	9,789	10,301
	死 亡	395	434	372	370	346
	その他	9,061	8,866	8,768	9,419	9,955
患 者 延 数		149,650	144,191	135,983	141,559	140,407
1 日 平 均 患 者 数		410.0	395.0	372.6	386.8	384.7
平 均 在 院 日 数		14.8	14.5	13.9	13.5	12.6
病 床 利 用 率		86.7	83.5	78.8	81.8	81.3
病 床 回 転 率		23.1	23.5	24.6	25.3	26.8
死 亡 率		4.2	4.7	4.1	3.8	3.4

住所地別患者数

区 分	住 所 地	25年度		26年度		27年度		28年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	3,978	72.8%	3,833	72.6%	3,875	74.0%	4,006	74.1%
	名古屋市	1,896	34.7%	1,812	34.3%	1,932	36.9%	2,049	37.9%
	その他	2,082	38.1%	2,021	38.3%	1,943	37.1%	1,957	36.2%
	県 外	1,490	27.2%	1,446	27.4%	1,365	26.0%	1,398	25.9%
	総 数	5,468	100.0%	5,279	100.0%	5,240	100.0%	5,404	100.0%
新 患 者 入 院 数	愛 知 県	6,749	72.7%	6,770	73.7%	7,102	72.7%	7,565	73.5%
	名古屋市	3,112	33.5%	3,211	35.0%	3,264	33.4%	3,482	33.8%
	その他	3,637	39.2%	3,559	38.7%	3,838	39.3%	4,083	39.7%
	県 外	2,534	27.3%	2,411	26.3%	2,673	27.3%	2,724	26.5%
	総 数	9,283	100.0%	9,181	100.0%	9,775	100.0%	10,289	100.0%

患者給食実施状況

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
入院患者延数	149,650	144,191	135,983	141,559	140,407	
給食数 (配膳延食数)	総数	301,545	287,760	274,200	288,334	291,474
	一般食	276,670	261,011	240,388	256,580	266,845
	特別食	24,875	26,749	33,812	31,754	24,629

放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総数	44,832	44,858	46,564	47,533	51,630
単純撮影	38,776	38,906	40,524	41,545	45,641
造影撮影	4,844	4,515	4,528	4,423	4,707
特殊撮影	1,212	1,437	1,512	1,565	1,282

アイソトープ検査件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総数	1,060	958	845	876	834
シンチスキャン	714	630	507	576	537
センチネルリンパ	337	326	333	296	271
動態計測	9	2	5	4	26

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

コンピュータ断層撮影（CT）件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総件数	16,020	17,060	17,588	18,350	19,270

超音波断層撮影件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
総数	3,337	3,499	3,517	3,990	4,243	
部位別	甲状腺	311	293	267	250	290
	乳腺	619	681	667	832	890
	腹部	2,141	2,140	2,133	2,350	2,506
	その他	266	385	450	558	557

(注) 放射線診断部・IVR部 超音波検査室における超音波検査件数。

MRI件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 数	3,887	3,946	3,872	4,000	4,080

放射線照射回数（治療）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
総 数	55,448	54,362	51,702	49,109	43,580	
放射線治療計画策定件数	1,240	1,496	1,476	1,438	1,364	
放射性物質	R A L S	52	51	49	58	116
	小 線 源	20	12	17	9	14
そ の 他	リ ニ ア ッ ク	53,093	51,685	49,032	46,481	41,035
	C T	960	1,043	1,083	1,091	1,016
	シミュレーター	83	75	45	32	35

一般臨床検査件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
総 数	2,952,465	3,082,084	3,047,702	3,082,403	3,195,147	
尿 検 査	27,237	27,194	26,452	28,808	29,664	
糞 便 検 査	584	532	426	354	322	
血液学的検査	927,277	967,033	949,938	954,917	984,776	
生化学的検査	1,561,538	1,636,016	1,612,858	1,632,613	1,693,151	
細菌学的検査 （監視培養検査）	20,066 (996)	21,429 (1,563)	23,213 (1,563)	21,140 (1,674)	22,830 (1,721)	
血清学的検査	212,646	220,594	223,968	230,735	240,817	
病理組織検査	8,549	8,695	8,629	8,954	9,420	
癌遺伝子検査	1,986	2,191	2,223	2,250	2,494	
細胞学的検査	7,117	7,329	7,347	7,227	8,452	
血液ガス検査	4,261	4,141	4,374	4,743	5,039	
その他	採血業務	178,132	185,224	185,991	188,279	195,891
	治験処理等	3,072	1,706	2,283	2,383	2,291

（注）（ ）内は内数。

機能検査件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 数	18,434	19,306	20,911	23,517	23,024
心 電 図 検 査	4,700	4,689	5,065	6,698	5,272
負 荷 心 電 図 検 査	1,927	2,026	2,038	2,073	2,255
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	807	811	843	921	1,089
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	267	247	273	216	210
心 臓 超 音 波 検 査	2,721	2,652	2,789	2,971	3,158
肺 機 能 検 査	7,139	7,913	8,944	9,560	9,863
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	67	123	162	133	125
聴 力 検 査	177	144	116	120	165
乳 腺 超 音 波 検 査	629	701	681	825	887
骨 塩 定 量 検 査	0	0	0	0	0
そ の 他 検 査	0	0	0	0	0

(注) その他の検査はベクトル心電図検査、心音図検査、心拍出量検査、脳波検査を含む。

部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	26年度			27年度			28年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,004,397	2,979,734	24,663	3,041,749	2,993,229	48,520	3,248,566	3,213,110	35,456
一般検査	109,375	109,365	10	119,645	119,579	66	125,044	124,986	58
血液検査	643,948	643,270	678	647,445	646,231	1,214	672,164	670,395	1,769
免疫血清検査	154,295	147,434	6,861	145,532	138,110	7,422	217,914	206,858	11,056
生化学検査	1,737,074	1,721,842	15,232	1,766,377	1,748,133	18,244	1,859,174	1,838,783	20,391
微生物検査	47,507	45,787	1,720	43,035	41,254	1,781	47,648	45,591	2,057
病理細胞診検査	100,420	100,420	0	104,831	104,831	0	104,842	104,842	0
生理検査	22,949	22,787	162	23,517	3,724	19,793	23,024	22,899	125
その他の検査	188,829	188,829	0	191,367	191,367	0	198,756	198,756	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

内視鏡検査件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 数	8,986	10,202	9,878	10,281	10,509
上 部 消 化 管	5,034	5,833	5,566	5,797	5,958
下 部 消 化 管	2,191	2,632	2,617	2,684	2,708
気 管 支	162	214	210	156	181
膵胆管造影(ERCP)	497	475	476	491	494
超音波内視鏡(EUS)	759	684	669	766	760
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNA)	343	364	340	387	408

内視鏡治療件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 数	1,038	1,086	956	1,009	1,001
食 道 E M R	17	12	17	8	14
胃 E M R	2	1	4	3	2
大腸EMR、ポリペク	296	250	289	300	325
食 道 E S D	34	62	59	52	70
胃 E S D	101	85	81	84	95
大 腸 E S D	49	62	57	56	55
食道狭窄拡張術	250	251	148	213	146
胆道ステント留置術	153	245	163	179	191
乳頭切開術、胆道碎石術	136	118	138	114	103

手術件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 数	2,750	2,792	2,805	3,002	3,140
頭 頸 部 外 科	506	527	510	526	520
呼 吸 器 外 科	275	309	350	403	378
乳 腺 科	477	497	484	459	480
消 化 器 外 科	803	805	767	820	843
婦 人 科	320	283	271	260	285
泌 尿 器 科	163	164	169	168	216
整 形 外 科	122	116	141	237	278
形 成 外 科	68	75	107	115	117
そ の 他	16	16	6	14	23

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。

主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	26年度	27年度	28年度	部 位	26年度	27年度	28年度
頭 頸 部 が ん	433	394	374	子 宮 頸 が ん	124	50	60
食 道 が ん	81	79	77	(円錐切除)		60	59
肺 が ん	247	283	280	子 宮 体 が ん	51	61	68
乳 が ん	431	440	434	卵 巢 が ん	37	40	43
胃 が ん	221	223	218	前 立 腺 が ん	20	29	48
大 腸 が ん	303	319	333	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	26	63	58
肝 ・ 胆 が ん	74	65	91	I V R	1,672	1,682	1,861
膵 臓 が ん	67	76	83	造 血 幹 細 胞 同 種	2	0	2
				移 植 自 家	9	8	4

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

※27年度より、子宮頸がんの表記を変更した。

薬剤業務状況

区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			総数	総数	総数	総数	総数
処 方	枚 数	総 数	79,640	79,780	76,590	78,765	82,269
		外 来	9,113	7,119	7,004	7,000	7,522
		入 院	70,527	72,661	69,586	71,765	74,747
方	剤 数	総 数	149,509	151,409	149,053	156,003	169,506
		外 来	22,914	22,380	23,907	23,660	26,320
		入 院	126,595	129,029	125,146	132,343	143,186
方	延 剤 数	総 数	1,202,562	1,234,068	1,232,441	1,284,571	1,365,204
		外 来	365,789	358,720	396,171	403,050	413,523
		入 院	836,773	875,348	836,270	881,521	951,681
治 験 処 方 枚 数		総 数	733	1,208	1,073	1,074	972
		外 来	710	1,080	952	982	908
		入 院	23	128	121	92	64
注 射	枚 数 (患者人数)	総 数	109,355	104,775	97,619	97,348	99,460
		外 来	25,602	26,265	25,593	25,777	27,630
		入 院	83,753	78,510	72,026	71,571	71,830
射	剤 数	総 数	519,482	469,546	419,369	407,913	423,163
		外 来	77,389	78,584	77,368	80,091	89,333
		入 院	442,093	390,962	342,001	327,822	333,830
薬 剤 管 理 指 導 数		人 数	4,535	6,134	6,392	6,604	4,866
		算 定 件 数	5,574	7,762	8,257	8,397	6,390
*1 外 来 患 者 指 導	常 用 薬 調 査	人 数			4,042	5,107	5,254
	窓 口 指 導	件 数			316	228	219
*2 外 来 抗 がん 剤 調 製 数	件 数 (患 者 数)	16,632	16,865	15,446	15,782	17,020	
	剤 数	25,722	26,121	26,846	26,419	28,639	
*3 外 来 抗 がん 剤 調 製 数 (治 験)	件 数 (患 者 数)	1,112	1,510	975	996	1,252	
	剤 数	1,581	1,971	1,276	1,199	1,517	
*4 入 院 抗 がん 剤 調 製 数 (治 験 を 含 む)	件 数 (患 者 数)	9,355	8,187	8,258	8,893	8,894	
	剤 数	12,477	10,896	11,593	12,697	12,648	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数		8,405	8,495	7,846	8,032	8,875	
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数		18,901	18,392	18,534	19,416	18,409	
T D M 実 施 件 数		110	183	163	142	135	

- * 1 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上（常用薬調査は平成25年度から実施。データは平成26年度から）
* 2 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上
* 3 外来抗がん剤調製数（治験）は、薬剤師が調製した分のみを計上（※1の外数）
* 4 入院抗がん剤調製数（治験を含む）は、薬剤師が調製した分のみを計上

院外処方せん交付状況（平成28年度）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処 方 せ ん 総 枚 数	4,682	4,540	4,832	4,521	5,026	4,924	4,329	4,761	4,814	4,664	4,157	4,652	55,902
院 内 処 方 せ ん 枚 数 (外 来)	579	578	562	544	640	620	576	632	641	679	654	817	7,522
院 外 処 方 せ ん 枚 数	4,103	3,962	4,270	3,977	4,386	4,304	3,753	4,129	4,173	3,985	3,503	3,835	48,380
比 率 (院外処方せん枚数) 処方せん総枚数) %	87.6%	87.3%	88.4%	88.0%	87.3%	87.4%	86.7%	86.7%	86.7%	85.4%	84.3%	82.4%	86.5%

平成9年12月2日からオーダーリングシステムによる院外処方せんの交付を開始し、平成10年8月から原則的に全面交付

血液使用状況

1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
自 己 血 液	312	417	434	216	124
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	5,032	4,346	4,520	4,332	4,342
他の赤血球製剤	24	34	34	0	0
凍 結 血 漿	1,324	703	940	902	1,046
血 小 板	14,090	9,650	10,505	8,315	9,660
そ の 他	0	0	0	0	0

2. 検査件数

(単位：件)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,938	2,632	2,722	2,488	2,343
血 液 型 (A B O)	3,692	6,691	6,982	7,155	7,472
R H 因 子	3,692	6,691	6,982	7,155	7,472
間 接 ク ー ム ス 試 験	9,124	2,879	3,051	3,144	3,316
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	6,162	6,073	6,332	6,518	7,059
直 接 ク ー ム ス 試 験	23	34	20	23	28

(注) ・全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

・直接クーモス試験は平成9年度より、臨床検査部から輸血部へ移管。

・血液型(ABO)、RH因子、間接クーモス試験については平成25年度より集計方法を変更した。

・他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

治験等実施件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
治 験 (内 拡 大 治 験)	120	135	146	149	144 (1)
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	11	8	9	9	13
製 販 後 使 用 成 績 調 査	28	24	37	51	53
そ の 他	3	2	2	0	1
合 計	162	169	194	209	211
(新 規 依 頼 分)	(39)	(58)	(61)	(59)	(38)
医 師 主 導 治 験	7	7	7	5	7

臨床研究件数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
倫理審査委員会承認件数(新規)	116	119	115	123	193
倫理審査委員会承認件数(変更)	55	77	79	103	117
合 計	171	196	194	226	310

死体解剖数

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
死 亡 患 者 数	395	434	372	370	346
解 剖 数	6	6	2	5	7
解 剖 率	1.5	1.4	0.5	1.4	2.0

研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんの研究機関としての研究業務も設置目的に含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎医学的研究と相まって、当センターの機能を発揮しているが、その研究体制は、

- (1) 研究所における部別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 病院・研究所両部門による共同研究
- (4) プロジェクト研究

の4体制で実施されている。平成29年度における研究課題は、次のとおりである。

研究所における部別研究課題

疫学・予防部	1 がん対策の企画・評価に必要な地域がん登録の資料を活用した、がんの流行と転帰の分析研究
腫瘍病理学部	1 課題内容準備中
分子腫瘍学部	1 悪性中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究 2 細胞特性に基づくがんの新規診断法・治療法の開発研究
遺伝子医療研究部	1 がん罹患リスク・予後を決める遺伝子と環境要因の組合せの解明、並びに予防・医療への応用。 2 造血器細胞の分化、増殖に関与する遺伝子の血清学的、分子生物学的研究
腫瘍免疫学部	1 腫瘍抗原の免疫学的、分子生物学的検索 2 免疫診断及び免疫治療の前臨床的及び臨床的研究
感染腫瘍学部	1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明
分子病態学部	1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築
腫瘍医化学部	1 がん細胞周期における新規キナーゼカスケイド 2 正常に上皮組織が階層化する新機構とがん化の相関解明
中央実験室	1 食道がん、頭頸部腫瘍の分子遺伝学的研究

病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法を選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 骨軟部肉腫進行例に対する治療法の研究
- 5 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 6 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

病院・研究所両部門による共同研究課題

- 1 悪性中皮腫の原因遺伝子の同定と臨床応用
- 2 頭頸部癌症例対照研究
- 3 遺伝子多型を含めた乳がんリスク予測モデリング
- 4 がんに結合する高親和性 T 細胞受容体の樹立
- 5 前立腺癌におけるホルモン治療に対する耐性獲得機序の解析
- 6 大腸がん転移抑制遺伝子の同定およびその機能解析

プロジェクト研究課題

- 1 組織構造を有した新規培養系による、前立腺がん検体の新評価
- 2 TAZ活性化による中皮細胞がん化の分子機構の解明
- 3 漿液性嚢胞性腫瘍および悪性睪内分泌腫瘍に対するプローベ型共焦点内視鏡の検討
- 4 次世代シーケンサーを用いた個別化医療の確立を目指した悪性リンパ腫の遺伝子変異解析

特許の状況

区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
発 明 件 数		2	5	5	5	1
出 願 件 数		3	5	3	4	2
登 録 件 数	年 度 当 初	18	27	32	25	29
	新 規	9	5	4	5	4
	権 利 消 滅	0	0	11	1	2
	年 度 末	27	32	25	29	31
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	4	4	5	5	5
	新 規	0	1	0	0	1
	満 了 ・ 解 約	0	0	0	0	0
	年 度 末	4	5	5	5	6

(注) 出願件数には外国出願、国際(PCT)出願を含む。

研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

24年	25年	26年	27年	28年
109	82	71	100	86

類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	埼玉県	千葉県	静岡県	兵庫県	宮城県	神奈川県	
	がん センター 中央病院		がん センター	がん センター	がん センター	がん センター	がん センター (独立行政法人)	がん センター (独立行政法人)	
事業開始年月	S39.12.1		S50.11.1	S47.11.1	H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S38.4.15	
病床数	500	3	503	341	611	400	383	415	
※稼働状況	病床利用率 (%)	77.4	4	71.2	73.0	84.6	78.7	72.5	82.2
	平均在院日数 (日)	13.5	4	13.7	12.5	10.7	14.0	18.3	12.0
	1日平均外来患者数 (人)	571	5	825	457	1,160	614	330	962
※収益状況	入院患者1人1日 当たり診療収入 (円)	57,535	6	63,519	61,267	65,097	62,366	51,701	71,214
	外来患者1人1日 当たり診療収入 (円)	42,832	1	30,618	31,067	36,943	40,708	36,199	26,110
※繰入金の状況	1病床当たり一般 会計繰入金額 (千円)	5,855	4	5,753	7,551	10,937	2,316	3,949	7,742
	一般会計繰入金 対経常収益 (%)	15.9	4	15.5	19.6	21.4	6.1	14.3	16.8
※経営状況	経常収支比率 (%)	103.1	1	93.3	98.0	99.7	100.5	99.6	99.6
	医業収支比率 (%)	94.1	4	80.6	81.3	83.9	95.0	99.8	100.0
	修正医業収支比率 (%)	87.6	2	80.4	77.9	83.5	95.0	86.5	84.0
	職員給与費対医業収益 (%)	41.8	3	49.5	61.7	39.8	44.6	44.4	35.0
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△4,734	3	△12,213	△8,311	△11,261	△2,127	△4,035	△7,968
	病床1床当たり 純利益 (△) 純損失 (千円)	1,121	1	△6,461	△761	△324	189	△86	△226
	病床1床当たり 概算キャッシュフロー発生額 (千円)	3,932	3	△1,482	1,396	5,101	2,148	2,461	4,497

注1 数値は「平成27年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失 + 減価償却費 + 資産減耗費 + 繰延勘定償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

外来診療案内

(平成29年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診療科	診療内容	診察日	
消化器内科	消化器疾患	月～金	
呼吸器内科	呼吸器疾患	月～金	
循環器科	循環器疾患	月・木	
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金	
薬物療法科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金	
頭頸部外科	口腔・耳鼻咽喉・甲状腺	月～金	
形成外科	形態治療・機能再建	月～金	
呼吸器外科	肺・縦隔疾患	火・水・木・金	
乳腺科	乳腺疾患	月～金	
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金	
整形外科	整形外科疾患	月・火・水・金	
脳神経外科	脳神経疾患	火・水・木・金	
泌尿器科	泌尿器疾患	月・水・金	
婦人科	婦人科疾患	月～金	
皮膚科	皮膚疾患	火・水・木・金	
眼科	眼科疾患	金	
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月・水・木・金	
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金	
緩和ケア科	精神腫瘍科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金
	緩和ケア	病態に応じた症状緩和・治療	火・木
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療	水
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療	火・木

※1 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)

※2 精神腫瘍科は、予約のみの対応です。

入院案内

(平成29年4月1日現在)

◆ 入院の申込み

- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
- 3 特別室(個室)に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。
なお、特別室(個室)を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

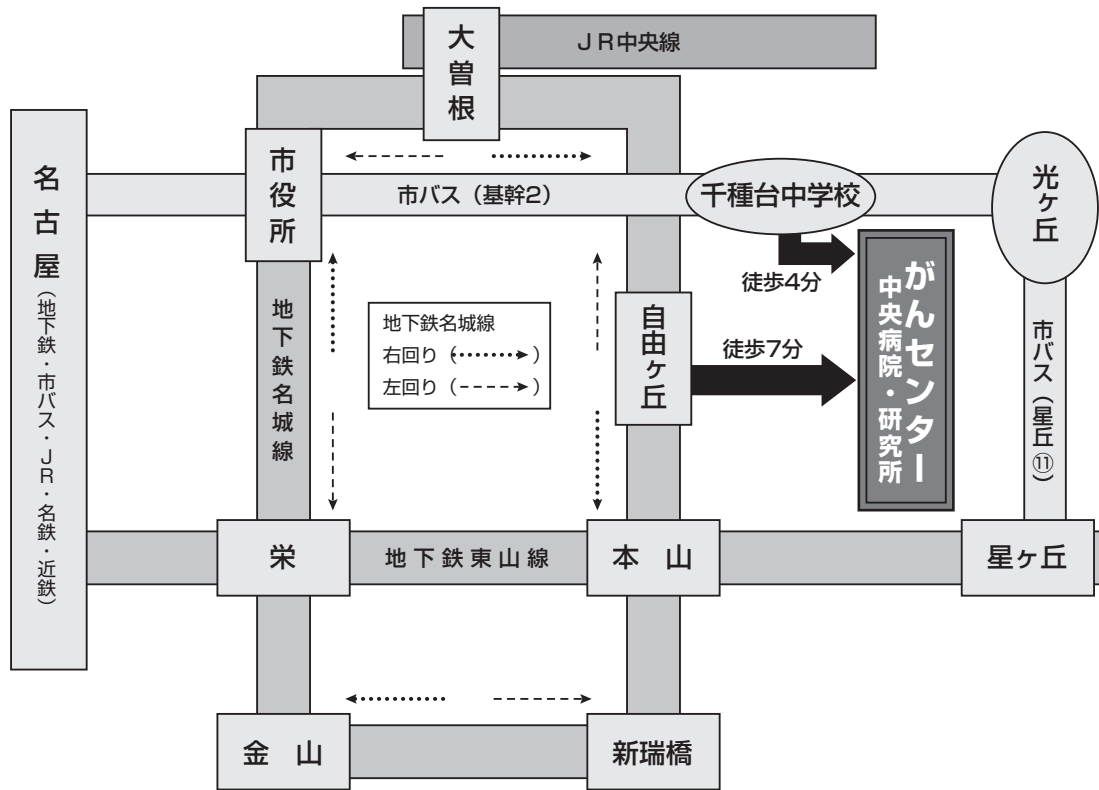
区分	A室	B室	C室	D室
室料(1日につき)	32,400円	17,280円	12,420円	7,200円

(税込)

◆ 面会

- 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります。
月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで
土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
- 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
 - (1) 面会のときは、看護師に申し出てください。
 - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないよう中央デールーム(面会室)をご利用ください。
 - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
 - (4) 構内は禁煙になっています。
 - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんに迷惑のかからないようお願いします。

交通案内



地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約 30 分】
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曽根・栄から【所要時間：大曽根から約 20 分】
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約 35 分】
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

市バス利用 「千種台中学校」から徒歩4分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約 40 分】
基幹 2 系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約 20 分】
星ヶ丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

自家用車利用 本山交差点から北へ5分，平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋 IC」から西へ約 15 分
名古屋 IC より、名古屋長久手線(60 号線)を西(星ヶ丘方面)へ 2,600m 進み、「打越」交差点を右折、1,600m 先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m 先の「希望ヶ丘 4」交差点を左折、300m 先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約 10 分
四谷出口より 800m 先の「四谷通 3」交差点を左折、北へ 1,500m 進み「猫洞通 2」交差点を左折、1,300m 先の「自由ヶ丘 3」交差点を右折、400m 先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター中央病院・研究所概要
平成29年度

平成 29年 5 月 発行

発行所 愛知県がんセンター
名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (〒464-8681)
Home Page : <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印刷 相羽印刷株式会社
名古屋市守山区瀬古一丁目241番地 (〒463-0068)
電話 052-795-5122 FAX 052-795-5123



愛知県がんセンター
Aichi Cancer Center